

# 地域の絆

宮本よしひで後援会

英賀保事務所 〒672-8080 姫路市飾磨区英賀宮町1-20  
TEL.079(238)1121 FAX.079(238)1774

豊富事務所 〒679-2123 姫路市豊富町豊富2430-1  
TEL.079(264)4191 FAX.079(264)4191

E-mail info@miyamoto-y.net



## 宮本よしひで

## 皆さんの声を市政で実現

いよいよ統一地方選の幕開けが近づいてまいりました。  
地域との絆を大切に、3期12年の活躍と今後の誓いを語っていただきました。

一期目からずいぶん色々な政策に力を発揮されているようですが

まず教育問題についてお聞きします。  
宮本さんは、英賀保小学校PTA会長を6年間務められ、その経験を活かし次の世代を担う子供たちのためにいろいろと活躍されたとのことですが

### 経験を市政に反映

最初にこの度のマグニチュード9.0という東北大地震で亡くなられた方、被害を受けられた多くの方々に心よりご冥福とお見舞い申し上げます。

PTA会長をしていた時、障害児学級（当時）の保護者の方の切実な声をお聞きし、保護者が学校へ出てきて自分の子の世話をしなくてはならない環境を改善するために**介助員の配置**に努めるとともに、英賀保小学校に大塚校長をお迎えして学校教育の中での障害児教育の大切さを学ばせて頂きました。

また、学童保育の指導員の方の要望を受けて、夏高温になる体育館のコミュニティルームに**クーラーを設置**するとともに、抜本的な政策的な展開の必要性を感じ、4局約10課の担当者と協議し**学童保育施設の専用化**を実現しました。

この他、発がん性物質の湧出が懸念されるポリカーボネイト食器をPEN食器に変更。児童の登下校の安全を地域で見守る**学校の安全対策推進事業**（現見守り隊）の実施。**スクールヘルパーの待機場所の設置**など、一期目から担当職員らとの十分な協議の中で、皆さんから寄せられた声の実現に邁進してきました。

新年度からは、私立幼稚園の連合PTAの要望に応じて、園児の健康診断にかかる費用の**補助制度の創設**と低所得者世帯への**減免制度の拡大**が決まりました。



私は30代のころ約6年間、元厚生大臣戸井田三郎先生の秘書をしていました。主に医療・年金・福祉といった厚生行政に携わってきましたが、国政の場で姫路市政、兵庫県政の政策課題解決のお手伝いをするのも、大切な仕事でした。そこで、縦割りの行政システムの中での政策実現の手法を学ばせて頂きました。その時培った人脈も私の推進力になったと思っております。

宮本さんは姫路市グランドゴルフ協会の顧問をされているそうですね。今すごく愛好者が増えています

### 生涯現役を目指して

グランドゴルフは、誰もが手軽に参加できる生涯スポーツです。私はスポーツや趣味を通して地域の絆を深めることが生涯にわたって**安心して暮らせる地域づくり**に有効な手段と考え応援しています。みなとドームの改修にあたっては**ゲートボールコートを加え**、エコパークあほし内の**グランドゴルフ場の整備**にも精力的に取り組みました。また、23年度は、健やかセンターのカラオケ設備を姫路市で初めて通信のカラオケに更新します。



校門より卒業生を送り出す

地域の課題に応えるには、自治会、地域住民、行政の連携が不可欠です。私が初当選した平成11年6月豊富町の連合自治会の会合にご挨拶にお伺いした時、ある自治会長さんにいきなり宿題を頂きました。お手並み拝見したいということだと思いました。それは、豊富小学校に新しい校門ができたのに信号機がないため利用できずに放置したままになっている。今年の卒業生には何としても新しい校門から送り出したというものでした。

早速警察にお願いしたところ快く理解していただき、まず姫路市に児童溜まりを整備してもらえれば、現在の校門にある信号機を移設しましょうということでした。これはありがたいと姫路市にその話をしたところ、まず信号機を移設してもらえれば児童溜まりを整備したいとの

ことでした。どちらが先にするか、また民有地を買収する必要もありその予算も計上しておらず、分筆、登記をし年度内に待機場所として整備するのは無理だということでした。

土地の所有者のご理解を得て、この件に関係する担当者のそれぞれの最善を結集した結果、翌年の2月には移設が完了し、卒業生を新しい校門から送り出すことができました。



その自治会長にはその後厚い信頼を受けるようになり、小林大溝の河川認定と改修などの宿題も頂くようになりました。ただ、選挙だけは他の方を応援していました(笑)。

エピソード

私の当局とのやり取りの一例

英賀保小学校の体育館の移設は、当時PTA副会長をしていたこともあり、千人規模の小学校にしてはあまりにも狭過ぎる校庭を、少しでも広げたいという思いで初当選時からの取り組みでした。

以下は当時の当局とのやり取りです。

体育館(旧)の裏の木製アスレチックは遊具が老朽化し安全のために使用禁止になっているが、いつ更新するのか。

更新予定はない。

それなら放置せず撤去し数年後に予定されている大規模改修時に体育館を北へ引いて欲しい。

大規模改修で建物を引くことはできない。

どうしても引いて欲しい。

引くと大規模改修ではなく新築ということになり無理だ。

それでは新築でするしかない。

予算がない。

新築にするとどれくらい余分にかかるのか。

5,000万円ぐらいだ。

アスレチック跡は約1,000平米あり、買うと1億以上はする。5,000万円の投資で得られるのなら効率적이다。

英賀保小学校だけが特に狭いわけではない。市内にはもっと校庭が狭い学校がある。

英賀保よりも狭いというのは論外だ、それらの学校もプールと体育館を縦に積むとか、隣接地を買収するかして早急に対策を練るべきだ。

ゆくゆくは英賀保と津田、荒川の三校区を四校区に再編し規模の適正化を図る予定で、そうなれば校庭の狭さも緩和される。

計画が立てられて10年以上になるが、校区審議会さえ1度も開かれていない。本当にそうなるのであれば、計画の内容と現在の進捗状況、目標年度などの確証が欲しい。



実現するのは難しいと考えている。

それなら待つことはできない。

国の補助金がもらえるかが問題だ。

耐震に問題があれば下りるだろう。

念入りに3回も耐震診断したが、問題はなく補助金がもらえない。

それなら、姫路市の単費で建てるしかない。新築となれば現在の児童数に合わせた広さで、ママさんバレーのコートが4面とれる設計でお願いしたい。

過大校の児童数に合わせると増床部分の補助金ももらえない可能性がある。

僅かな平米数なのでこちらで知恵を出して欲しい。

いよいよ設計に入ることになった。



設計に当たっては、校長とスポーツ21の理事長、使う側の意見を十分に反映してほしい。スポーツ21が負担すべき工事費などについては後で清算すればよい。

新築ということで柔軟な発想で、利用する人の意見を十分に聞いてやりがいのある設計ができた。英賀保小学校の中庭にはいい日本庭園があるのでそれを活かして野外ステージと芝生広場の整備とを合わせて2カ年の計画とした。

建設当時のPTA会長として地元連合自治会、連合婦人会の皆様のご理解とご協力には厚く御礼申し上げます。

後援会ご入会のお願い

皆様のお声を市政に届かず役を3期12年の実績を見ていただきぜひ4期目もやらせて下さい。皆様のご入会をお待ちしております。